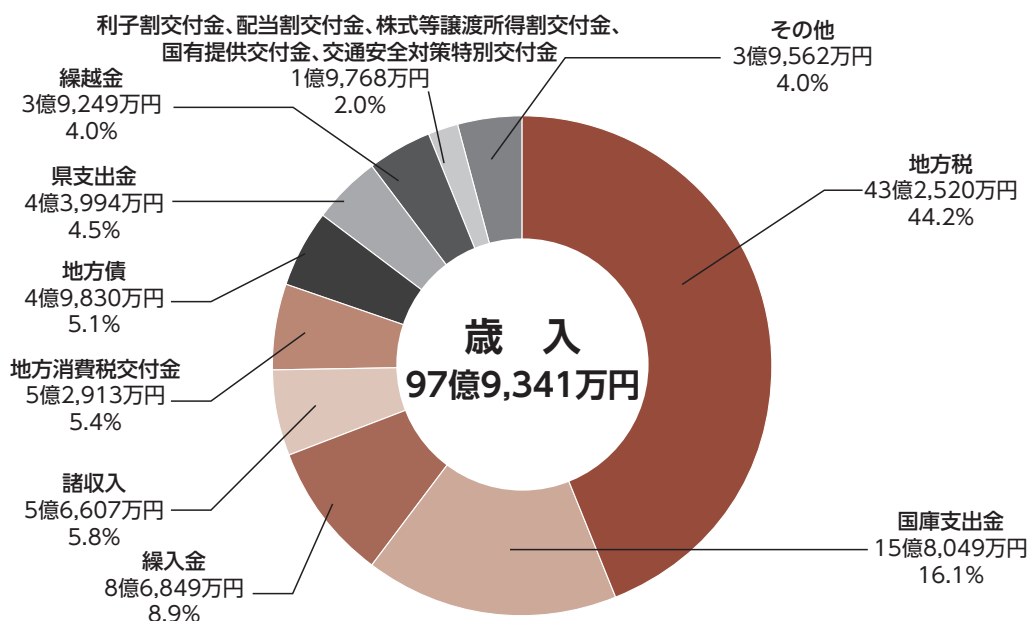
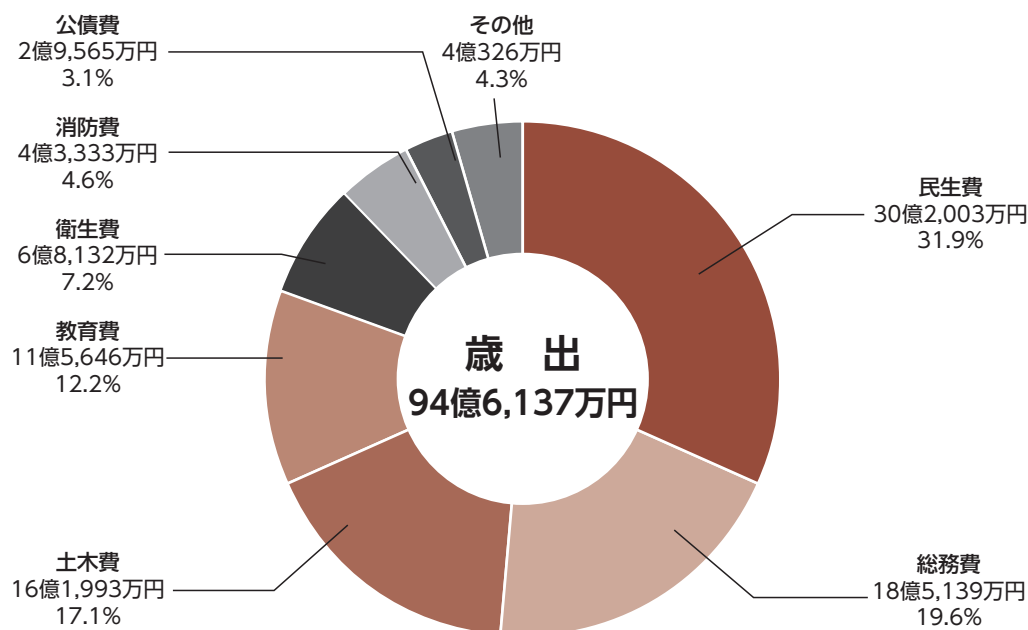


●一般会計決算状況



歳入

歳入総額は、前年度比5億454万円の増収となりました。これは、標準化に伴うデジタル基盤改革支援補助金や財政調整基金繰入金の増加が主な理由です。

平成20年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税であるため、下水道の整備費と臨空第2公園の整備費に充当しました。

歳出

歳出総額は、前年度比6億588万円の増加となりました。これは、標準化に伴う電算システム委託料、臨空第2公園の整備に係る埋蔵文化財発掘調査委託料、志水小学校のトイレ改修工事に伴う施設整備工事費の増加が主な理由です。

目的別歳出では総務費で3億5762万円の増加(対前年度比+23・9%)となる一方で、土木費で2億6258万円の減少(対前年度比△13・9%)となりました。

特集

決算報告

令和7年度

令和7年度決算についてお知らせします。
一般会計の歳入は97億9341万円で、予算現額に対して93・0%の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、94億6137万円となり、予算現額に対して89・8%の執行率でした。今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況と、財政健全化法に基づく健全化判断比率と資金不足比率の算定結果についてご報告します。